

2017年5月16日

関係各位

株式会社ウエルス・スクエア

## 熊本銀行、親和銀行への「ファンドラップ」提供開始について

株式会社ウエルス・スクエア（代表取締役社長：竹崎竜二、以下「当社」）は本日より、株式会社熊本銀行（頭取：竹下英、以下「熊本銀行」）および株式会社親和銀行（頭取：吉澤俊介、以下「親和銀行」）を投資一任契約の締結の代理業務を委託する金融機関（以下「代理金融機関」）として、投資一任運用サービス「ファンドラップ」の提供を開始しました。

「ファンドラップ」は、お客様の資産運用に関するお考えをもとに、適切な資産配分を提案し、お客様に代わって専用投資信託を組合せて運用を行い、定期的に運用報告を行う投資一任運用サービスです。

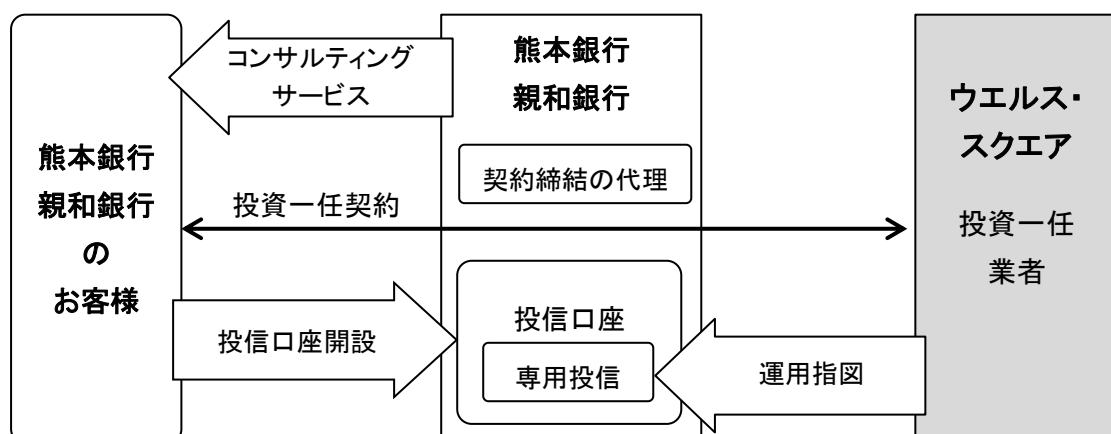
当社は2016年11月より株式会社ふくおかフィナンシャルグループ傘下の株式会社福岡銀行とともにお客様にファンドラップのサービスを提供してきました。今般、同グループ傘下の熊本銀行と親和銀行が代理金融機関として加わることで、より幅広いお客様にファンドラップのサービスを提供していきます。

熊本銀行と親和銀行は、それぞれのお客様に多様な金融サービスを提供していますが、今後は従来の商品・サービスに加えて、お客様の要望やリスク許容度に基づく新たな運用スタイルを提供し、お客様の資産管理（殖やす・守る・遺す）を末永くサポートしていきたいとしています。

当社は、熊本銀行、親和銀行とともに、お客様のニーズに合った中長期の安定的な資産運用サービスを提供し、お客様のライフステージに沿った資産管理に貢献していきます。

### <当サービスのスキーム>

当サービスでは、熊本銀行、親和銀行がお客様と当社との投資一任契約締結の代理業務を行い、当社が投資一任業者として運用指図を行います。



<ファンドラップの概要>

契約対象	個人のお客様
契約金額	500万円以上1万円単位
運用開始日	契約締結日が各月1日～15日の場合:翌月1日 契約締結日が各月16日以降の場合:翌月16日
専用投資信託	以下の7本が「ファンドラップ」専用投資信託となります。 ファンドラップ(ウエルス・スクエア)日本株式 ファンドラップ(ウエルス・スクエア)債券・安定型 ファンドラップ(ウエルス・スクエア)債券・成長型 ファンドラップ(ウエルス・スクエア)外国株式 ファンドラップ(ウエルス・スクエア)外国債券 ファンドラップ(ウエルス・スクエア)REIT ファンドラップ(ウエルス・スクエア)オルタナティブ
運用コース	リスク許容度(保守、やや保守、中位、やや積極、積極の5パターン)とオルタナティブ投資の有無の選択に応じて、上記の専用投信の組み合わせによる計10コース。
運用報告	3、6、9、12月の末日を基準とする運用報告書を作成。
投資顧問報酬	お客様の運用資産の時価評価額に対して、最大で年率1.35%(消費税等込み、税抜き:1.25%)を乗じた額をお支払いいただきます。

以上

<株式会社ウエルス・スクエアについて>

野村グループの野村アセットマネジメント株式会社と野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー株式会社、金融ITソリューションを提供する株式会社野村総合研究所の三社均等出資により2016年1月に設立された資産運用会社です。ファンドラップ・サービスの業務プラットフォームを構築し、ファンドラップの投資運用およびサービスの提供を行います。